

キラリと光る 飛島キラ通信

第8回

配置・平面案の絞り込み に向けて話し合う

前回のアンケートに基づき、みなさんが特に重要と考えられている指標を多く含んでいる2つの案に絞られました。しかし、先生方から新しい小中一貫校の教育方針として掲げる内容と照らすと、異学年のまとまりを重視してほしいという意見がでたため、石本建築事務所よりさらに3つの案が提案されました。

前回の2案と今回の3案についてグループに別れ話し合いを行いました。

話し合いの結果、ほぼ全員一致で新たに示された3案がよく、その中でも低学年と中高学年のゾーンを完全に分けたG案がよいという意見が多く出ました。

このG案をベースに、次回よいよ最終案が提示され、配置・平面が決まります。細かい部屋の位置、大きさなどの話し合いは今後も継続して行います。



第7回ワークショップ内容

2007年10月17日 19:00~21:30

参加人数：24人 場所：中央公民館2階学習室

19:00 教育委員長挨拶

19:02 前回のおさらい

キラリ通信の内容確認

19:06 アンケートの集計について

アンケート結果について石本建築事務所より報告
指標の重み付けを集計すると、

「学年のまとまり」、「4・3・2のまとまり」を重要視する意見が最も多く、次いで「低学年教室の階」、「職員室の階」、「教室の採光・通風」そして「回遊動線」、「動線の長さ」、「中庭利用」、「階数」という順番になる。その結果B-1、C-1の2案に絞られる。

みんなの意見が一致したというより、意見が分かれた中で、これらの案を選んだ人が多かった。

19:15 基本となる考え方のおさらい

石本建築事務所より今まで提案してきた案の基本となる考え方をもう一度おさらいしてもらった。

19:25 先生方からの提案

新しい小中一貫校の教育方針：

- 4(2+2)・3・2の区分を校舍建築に反映する
- 他学年との隣接により日常的交流を図る。上の学年を見て育つ、先生同士も協力できることが重要。学年が孤立することが一番よくない
- 交流により固定した人間関係が緩和され、児童生徒が目標を持ち、自分のよさの発見につながる。
- 意見・交流は放課にできるのではないか。授業中の交流とは？高学年も授業中の交流が必要か？広いスペースで近くで作業したり、上の学年がしていることを見て学んだりすることも交流。
- 9年の学ぶ姿勢を8年が感じる事が大事。
- ・432が固定かどうか今後わからない。2階に中高学年を集めフレキシブルに対応できる方がよい。

19:45 新たな3案の提案～グループワーク

石本建築事務所より先生方の意見を取り入れ、新たに3案が示された。アンケートより絞られた2案と、新たな3案について4つのグループに分かれ話し合いを行った。

マツタケ食べたーいチーム

- 4・5の学年ユニットがよい
- 駐車場は東側がよい
- 2階建でよい
- 遠くから目立つ展望台
- E案：東西入れ替えがよい
- FG：すこやかとのつながり
- G案：高学年隣接が気になる

Dを日本一にさせるチーム

- 中高学年の距離感がよい
- 低学年のそばの広場がよい
- E案：正門からの見通しよい
- G案：コンパクト。動線よい
- G案：職員室の位置よい
- G案：北でも東でもなくよい

キーワードはまとまりチーム

- 少人数クラスに対応している
- E案：運動場のまとまりよい
- E案：テニスの日当たり悪い
- G案：プールなど移動し易い
- G案：低学年が騒いでも中高学年が気にならない

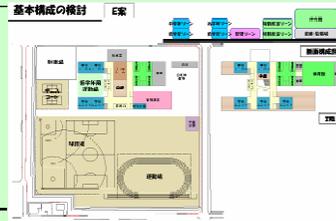
いつまで考えてるのチーム

- F案：7年生(中1)の存在を保つのによい
- F案：低学年運動場位置よい
- G案：交流の場の中庭を重視するならGがよい
- G案：運動場の形が悪い
- G案：役場との連携がよい
- テニスコートが裏にあるのがダメ

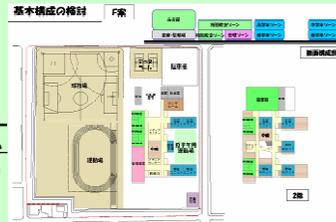
次回ワークショップ：10月31日19:00～

今回の話し合いをもとに配置・平面最終案の提示

E案



F案



G案

